



# 参院選 SNS選挙



参院選が7月3日に公示、同20日に投票される。近年の選挙は街頭演説や集会などに加え、交流サイト(SNS)を利用した有権者へのアプローチも目立つ。昨年の米大統領選や兵庫県知事選ではSNSの情報が有権者の行動を大きく左右するなど、影響力は急速に増している。SNS選挙にはどんな利点や注意点があるんだろう。

ぶんぶん SNS選挙って何?

記者 X(旧ツイッター)やインスタグラム、フェイスブックなどのSNSを利用した選挙運動のことだよ。候補者に関する情報の充実、有権者の政治参加の促進を図るため、2013年の法改正で動画共有サービス、ホームページなども

含めたインターネット選挙の運動が解禁されたんだ。ぶんぶん どんな利点があるの?

記者 候補者や政党、政治団体は時間や場所に関係なく、訴えたい政策や理念を発信することができ、有権者はより多くの情報を基に投票先を決められる。他にも、従来の選挙運動では

## 訴えすぐ発信コスト減

### SNS選挙の主な利点と課題

#### 利点

- 候補者や政党・団体が、時間や場所に制限されない迅速な情報発信
- 若者など幅広い層へのアプローチ
- 印刷代や人件費などのコスト削減
- より多くの情報にアクセスできる有権者の利便性向上

#### 課題

- 誹謗中傷や虚偽情報の拡散
- なりすましやウイルス感染などのセキュリティリスク
- 自分の意見や価値観が世の中の一般的な意見であるかのように錯覚してしまう「エコーチェンバー現象」の発生

## 虚偽情報拡散の課題も

届くのが難しかった若者へのアプローチ、印刷費や人件費などのコスト削減につながるといったメリットも

挙げられるよ。  
ぶんぶん 私たちもSNSで候補者の応援を呼びかけられるの?

記者 それは可能だよ。有権者もSNSで選挙運動はできるんだ。ただし、電子メールの使用、ホームページやメールを印刷して頒布することなど禁止事項もあるから注意が必要だよ。18歳未満の未成年は、全ての選挙運動をすることができない。

ぶんぶん SNS選挙に課題はあるの?

記者 情報の発信者が分かりにくいといった特性があるよ。匿名性を利用して候補者に対する誹謗中傷を書き込んだり、虚偽情報を拡散したりするケースも見られ、昨年11月の兵庫県知事選では問題がクローズアップされた。候補者を装った「なりすまし」や、ウイルス感染などセキュリティ

上の危険性も挙げられているよ。

ぶんぶん そうなんだ。記者 自分と考えの似た人の意見ばかりをSNSで目にするうちに「この考えが正しい」「世の中の多くの人が同じ意見だ」と思い込んでしまう「エコーチェンバー現象」も指摘されている。県選挙管理委員会や高校生らへの出前授業などで「一度冷静になり、反対意見にも耳を傾けよう」と呼びかけている。

ぶんぶん 何に気を付けて選挙や候補者を見ていったらいいのかな?

記者 候補者や政党に関する情報は、複数の媒体から集めるのを心がけた方がいいね。誤情報に惑わされないよう、慎重に判断することが求められる。うそや悪意が込められた可能性のある情報は、自分が拡散しないことも大切だね。



〔問①〕 有権者の政治参加を図るため、2013年の法改正でどのようなことが解禁されましたか。

---

〔問②〕 「エコチェンバー現象」について、記事ではどのように説明していますか。

---

〔問③〕 この記事ではSNS選挙の主な利点と課題を整理して伝えています。この他にどのような影響が考えられるか、また、課題に対してはどのようなことに気をつけるべきかなどについてあなたの考えを書いてみましょう。また、周りの人とも意見交換してみましょう。